授業科目	キリスト教と現代					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	神崎　明坤						
授業概要	「感恩奉仕」という建学の精神は、教義の基準を聖書におくキリスト教に基づく。授業内容は、聖書の創世記の神による人間の創造神話に基づいて主張したもの。本授業は現代における個人の尊厳、自由、教育、平等の「不可侵性」を基礎づけたキリスト教の視点を手掛かりに、世界、アジア、そして日本が直面している問題について、学生が思索する力を培うことである。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１、授業で扱う聖書の章と節の意味を理解することができる。 ２、聖書の示す「人間の根本問題」とそれに対する「神の救済計画」を説明できる。 ３、授業で学んだ範囲でキリスト教の価値観を現代の自分の置かれた問題と関係させて考え表現することができる。 予習として、毎回、シラバスの記載に従ってテキストを読む。聖書、テキストを準備しておく。授業中は、用語の意味を理解し、特に関心を持ったことや疑問などのコメントを書いて提出する。復習は、テキストを読み返し、授業で学んだ内容の理解を確かなものとし、また、キーワードとなる用語の意味を再確認する。課題を行い、レポート提出は期日を守る。自作のノートやテキストを見ながら行動目標として求められている内容を実行できる。
理想的レベル	標準レベルのことに加えて、以下のことが実行できる。予習として、毎回授業のテーマの聖書の箇所を読み、テキストの分からない用語の意味を調べておく。キーワードと思われる用語、疑問や自分の考えを書き留めておく。授業中は新たな疑問や発見したことを書き留め、クラスで分かち合うことが出来る。復習として、ノートを見ながら、授業で学んだテキストを再度読み理解を深めることが出来る。手がかりとなるものが無くても、行動目標を実行できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU10105J WE10105J NT10105J EN10105J TO10105J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）

聖書の代表的な用語の読み方の復習	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 現代とキリスト教、 科学時代にキリスト教を学ぶ意義
第 2 回	聖書とイエス・キリスト、
第 3 回	聖書の意味論的解釈---聖書の世界、 聖書の構成
第 4 回	聖書の箴言の知恵 女性教育及び女性像・婦人観
第 5 回	アダム物語----関係性と高慢、 カイン物語----自尊心と高慢、 バベルの塔物語---関係性と権力欲(外部講師)
第 6 回	経済と聖書 聖書と現代経済のかかわり（外部講師）
第 7 回	旧約聖書は現実をどう捉えているか。 自然と人間、 自然の中に現れる神の力(外部講師)
第 8 回	纏めと試験
テキスト	授業時にプリントの配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	聖書。 参考文献： 大村修文著『キリスト教史はじめの一歩』。 桜井希著『共に生きる』。 湊晶子著『女性を生きる』角川書店 2010 年。 芦名定道著『キリスト教と現代』世界思想社 2001 年。 ロック著服部知文訳『教育に関する考察』岩波書店　1967 年。 ジョン・ロック著　加藤節訳『寛容についての手紙』岩波書店 2018 年。
課題に対するフィードバックの方法	小テスト、レポートや定期試験等を実施します。小テストは採点後、返却します。 15 回目の授業中に定期試験を実施します。
学生へのメッセージ・コメント	配布したプリントに用いられる用語の読み方と意味を確認しておくこと。 聖書の章と節を短時間で開くことができること。 自分とは誰で何かという自己理解（アイデンティティ）の形成や自己創造の対話の相手として、聖書やテキストと親しくなること。 そのために役立つ学習方法としては：

	１、集中力を高めること ２、聖書は自分にだけ聞こえるように小声で音読すること